



なかよし



R6年 2月

市野谷つばさ保育園

例年に比べ今年は暖かい日が多いですが、それでもやはり冬の寒さを感じられる日もありますね。園の中では子どもたちの元気な声が響き渡り、室内を暖かくしてくれます。

乾燥や感染症が気になる時期でもありますが、風邪などに負けず、元気いっぱい過ごしていきたいと思っています。



2日(金) 節分会
なかよし広場

5日(月) 乳児身体測定

6日(火) 幼児身体測定

17日(土) 成長展

20日(火) お誕生会

★10:40 開始予定です。

28日(水) 不審者訓練

★避難・消火訓練は日にちを決めずに行います。

0歳児クラスの菊地明日香が出産のため、3月2日より産休・育休に入ります。

なお、3月末までの1ヵ月間は0歳児クラスを伊藤妙が担当させていただきます。

よろしくお願ひいたします。

進級に向けて…

園では4月から各お部屋の机の位置や玩具の種類、玩具をしまう位置、遊びのゾーンの位置など細かいところまでそれぞれのクラスや子どもたちの発達に合わせた環境設定を行っています。そして、定期的に子どもたちの成長に合わせて設定を変えながら保育を行っています。毎年4月になると1つ上の学年に進級するので、生活の場所も変わります。進級してお部屋や全てが変わると慣れない場所での生活で戸惑ってしまうので、少しずつ移行期間として進級に向けて練習をしています。

今年度もそれは例外ではなく、少しずつ各クラス新年度へ向けての準備が始まっていて年長児もいよいよ就学！自分でご飯を食べたり、お着替えを頑張るクラス、お部屋の移動に向け新しいお部屋で過ごしたり、お兄さんお姉さんと一緒に過ごしながらかommunicationを図る、小さい子のクラスに行きお手伝いをする、…などそれぞれやりたいことやちょっとチャレンジしてみよう！ということに取り組んでいる子どもたちです。

進級後はどのクラスの子も1年若返り、毎日積み重ねていく生活の中で少しずつ成長し、1年経つとまた1つ年を重ね、また進級していきます。このように子どもたちの発達は常に連続して起こっているのです。私たちはいつまでも幼いままの援助ではなく、その都度成長している子どもたちに合わせた援助を行っていく必要があります。年度の切り替えのためだけに変えていくのではなく、子どものその時の姿に合わせて援助も環境も変えていきたいものですね。

園長の一言日記

先日『すくすく子育て』と言う番組で安全教育の専門家の方が赤ちゃんからの防犯について話されておりました。赤ちゃんの時期には安心出来る人や場所がある事を知る、感じる事が大切なのだと話されておりました。また、赤ちゃんといる時に話しかけてくる人がいますが、見守ってくれる人もいますが、『触る』『抱っこしたがる』『写真を撮る』など違和感がある相手とはさり気なく距離をおくようにすると良いとの事。ハッキリきっぱりと断る事で不審者はそれ以上手を出さない傾向がある為勇気を出して断る事も必要なのだそうです。お散歩の時に地域の安全な場所や危険そうな場所をチェックしながら歩いてみると良いかもしれませんね。

〈子どもとの時間、どう過ごすのがいい？〉

子どもと過ごす時間や関わりについて、悩むことはありますか？忙しい時間の中で、一緒に過ごす時間が短くなってしまおうというご家庭も少なくないと思います。

そんな中でも、例えば、子どもとの何気ない会話の中で、1つの質問に対して「なんでだろうね。」と問いかけてみたり、「じゃあ〇〇はどうなるかな？」とプラスで質問を重ねたりして、親子で『一緒に考える』という経験を積み重ねていくことで、『考える力』が育つと言われています。他にも、週に1・2回、子どものリクエストに応じてあげるなどいいかもしれません。リクエストと言っても、大げさなものではなく、保育園の帰り道をどこから帰るか・夜ごはんのメニューなど、簡単なものでも子どもにとっては『特別な時間』になり、親子の関わりを深めることができます。どこかへお出掛けすることもちろん特別な時間となるでしょうが、日常のほんの少しの時間の中にも特別な時間は作れるのかもしれない。

是非やってみてくださいね♪

NHK すくすく子育てchより

中室牧子（慶応義塾大学教授/教育経済学）

遠藤俊彦（東京大学大学院/発達心理学）



成長展があります



今年度の成長展は久しぶりに人数制限や時間の枠を設けない形での開催を予定しています。子どもたち一人ひとりの成長をご家族の皆様でじっくり、ゆっくりご覧いただけたらと思います。

詳細については別紙のお知らせをご確認くださいませようお願いいたします。

ご不明な点は職員までお声掛けください。

【保育目標】

すみれ→・人やものに興味を示し、真似たり同じもので遊んだりしようとする。

- ・保育者に見守られながら安心感を持って生活を送る。

つくし→・保育者や友だちと一緒にごっこ遊びを楽しむ。

- ・園庭や公園で冬の自然の散策をし、寒い中でも元気に過ごす。

たんぽぽ→・子ども同士で遊びを決め、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。

- ・着脱や排泄、支度などの身の回りのことを最後まで自分で行おうとする。

ゆり→・相手の気持ちを考え気付けるようにする。

- ・マナーを守りながら楽しく食事をする。

ばら→・進級する期待感を持つ。

- ・異年齢児に思いに気づいて関わる。

ひまわり→・就学への期待や不安を受け止められながら、自信を持って生活する。

- ・自分なりに遊びや生活など見通しをもって進める。

